

■ 工学研究科

地球環境デザイン学専攻
社会基盤デザイン学コース

取得学位の名称
◆修士（工学）

履修条件（アドミッション・ポリシー）

1. 社会基盤の整備に関わる高度な学修と研究に意欲的に取り組み、倫理観を身につけその分野の専門家を積極的に志す人
2. 建設分野の専門知識に加えて様々な工学的知識・技術を応用して、社会基盤の整備や地球環境の保全に貢献したいと望む人

到達目標に達するためのカリキュラム方針（カリキュラム・ポリシー）

学部教育において修得した知識を基礎として、社会基盤工学と地球環境に関する高度で先端的な専門知識を身につけるため、土木構造、流域デザイン、地盤・岩盤工学、都市・地域計画、土木材料、建設マネジメントなどの専門分野と、先端科学・技術や技術経営、知的マネジメントなどに関する共通科目から選択して履修します。ただし、1年次には必修科目として「創成工学プロジェクト」を履修します。

さらに「社会基盤デザイン学特別研修」を必修とし、「社会基盤デザイン学特別実験」あるいは「社会基盤デザイン学特別設計」を選択必修として、指導教員による2年間の一貫した指導の下に、先端的な研究課題に取り組みます。課題の遂行にあたっては、半期ごとに指導教員による評価を受け、2年次の12月に中間発表会を行います。2年次の終わりに研究成果をまとめて、「社会基盤デザイン学特別実験」を選択した場合には論文を、「社会基盤デザイン学特別設計」を選択した場合には設計図書を提出して発表会に臨み、審査を受けます。

修了認定の基準（ディプロマ・ポリシー）

地球環境デザイン学専攻・社会基盤デザイン学コースでは、以下に掲げた目標を達成し、所定の単位を修得し、修士論文審査に合格した者に対して修士の学位を授与します。

1. 建設技術者として、専門的に高度な知識をもとに、社会基盤の整備や地球環境の保全に関わる実務的諸問題を論理的に分析・解決できる。
2. 社会基盤の整備と地球環境との関係を理解し、高度な倫理観のもとに、社会全体の利益のための問題発見能力、問題解決能力、総合化能力を身に着ける。
3. 社会基盤の整備や地球環境の保全について、自分の考えを論理的に組み立てて、さまざまな背景を有する人々に対するプレゼンテーション能力およびコミュニケーション能力を身につける。

